（大正十年四月二十二日第三種郵便物認可）　昭和二年六月三日　磐城新聞　［金曜日］　第一千九百五十五號　［一］

（一日夕刊）

磐城新聞

休刊日　大祭第一第三日曜日
定価（前金）一枚二銭　一ヶ月五十銭
（郵税共）
廣告料　（雑報欄）一行五十銭
場所指定二十銭増
發行兼編輯印刷人　磐城郡平町田町拾六　運沼龍輔
發行所　磐城新聞社　電話五六番

鯉のはなし

鯉ぼり、こゝにも日本りますがだん大きくなつて男子わり——今は舊の五月全身八分くらゐになるまでのた節句でありますからそには約四十日目です、それれに因んだ鯉のた話をいたから第二の稻田養りとしまします。

◇

鯉は何故五月のお節句のぼりにまで使はれるのでせう、そしてまた「江戸ツになつた兒コヒを、大體一兒は五月の鯉の吹き流し」段歩の水田に九百尾くらゐまで言はれるのでせう、放つの通例だと言ひます、それは言ふまでもなく威勢それが次第に大きく五すくのいゝことをほめたゝへたらゐになるのは八九十日目のです、なにしろ「鯉の瀧で、目方にしまして十五匁のぼり」と言つてすさまじ以上になります、前に申しく落ちてゐた瀧でさへぐんました九百尾の中途中で死の方より定めるのが普通で〳〵上つて行くといふではんでしまふのか三分の一ほどあることを知つてたかねありませんか！

◇

先づ御馳走のお話から始景が一番多く見られるのはめませう、皆さんも御承知長野縣であります

◇

瀧のぼりをするくらゐのして躍きを生じ易き日▲二▲一白　福分薄く學の半黒　心を陽氣に持てば運氣も引き立ち來るべし▲三碧足許の收捨を願みず先に走り過ぐる日▲四綠　無理をすれば破れを生す口入ごと尤も注意▲五黄　獨尊主義に流れて敬遠せらるゝ嫌ひある日▲六白　不況に沈み居りし身も追ひ〳〵吉運に向ふべし▲七赤　權謀は事を破る精力にましたることはなし▲八白　照りても降りても本業離れず勵めば吉日となる▲九紫　已がる職業に心を專らにすれば大吉日となる

◇

即ち八分くらゐの大きさのぼりにまで使はれるのでせう、そしてまた「江戸ツになつた兒コヒを、大體一兒は五月の鯉の吹き流し」段歩の水田に九百尾くらゐまで言はれるのでせう、放つの通例だと言ひます、それは言ふまでもなく威勢それが次第に大きく五すくのいゝことをほめたゝへたらゐになるのは八九十日目のです、なにしろ「鯉の瀧で、目方にしまして十五匁のぼり」と言つてすさまじ以上になります、前に申しく落ちてゐた瀧でさへぐんました九百尾の中途中で死の方より定めるのが普通で〳〵上つて行くといふではんでしまふのか三分の一ほどあることを知つてたかねありません、かうした光景が一番多く見られるのは

明日の吉凶　六日　五日　四日　三日　二日　一日　月日　舊曆　新月

血で血を洗ふ

(51)

高橋掬太郎創作
布施千八郎揮毫

講談

奇略と妙計

當代の智將と智將が對峙つ思した本能成昌と羽柴秀吉のでは如何なものでありませちや」

「秋になればあの草木が枯れる時が來れば敵を皆殺しのこと成昌に云つた剛勇のに——」

吉行はます〳〵成昌の云ふ事がはつきりと腑に落ちでなく術の爭ひ——だから血氣にはやる若いからのう——」

勇士達は些か齒ゆくなる位であつた。

「どうもかうやつて毎日にらみ合つてゐるばかりでは少しも面白うない。すつかう退屈してしまうではないか」

「左樣ぢやどうせ戰ふならがしてゐるのだから同じことさつさと戰つて勝負をつけとであらう」成昌は笑つた

「しかし一刻も早く此の敵しまふがよいがいつまでも此のやうなにらみくらをて林がある中に陣を取つたして兩軍はにらみ合つてゐるのであつた。

双方の軍兵が平氣で此のなほさず勝つてゐることは川へ釣糸を垂れに來た。そではあるまいか……」

して釣り上た鯉や鮒を見せ合つたりする程であつた。

「主君もはや對陣十日を過ぎまするが何時までも只にふ時があらう。これから追ひ追ひ秋になれば山野の草木は一帶に枯れて來る。そするやうに思はれますが一の時こそ我から討つて出て敵をみなごろしに出來るのであつた。

「うむもはや十日をすぐるないやうな面持。

成昌は遊山に來て日を忘れてゐるやうな返事だつた

「我等でさへ張合ひ拔けがするやうでございまする」

「張合拔けがするもよからう。我が軍が張合ひ拔けがするだけ敵軍も張合ひ拔けがしてゐるのだから同じこ

「しかし一刻も早く此の敵を破つて豫定通り進軍せねば折角の應援に出軍した味か無になるかと存じられまするが！」

「はゝゝゝ戰つたところで必ず勝つとは限らぬ敵も織田忠元の軍勢と合体して敵を迎へる計劃であつたが秀吉は早くも此の事を知つてつだところで勝つことは疑途中に於て成昌の軍勢を遮間であらう。それより矛を交すとも敵の精鋭を此の處にて喰ひとめてゐたならば折角の應援に出軍した味か無になるかと存じられまするが！」

「はゝゝゝ戰つたところで必ず勝つとは限らぬ敵も織田の旗下に第一の智者と謳はれた羽柴秀吉殊に軍勢は吉は早くも此の事を知つてつだところで勝つことは疑途中に於て成昌の軍勢を遮間であらう。それより矛を交すとも敵の精鋭を此の處にて喰ひとめてゐたならば折角の應援に出軍した味か無になるかと存じられまするが！」

秀吉が途中を遮きると知つて成昌は進軍を止め或るねるのぢや」

「戰はすに勝つてゐるとは吉行は解せぬ面持だつた

「さあ戰はすとも我が軍よ秀吉の軍が多い我が一人に彼の二人又は三人が相當する一人で二人又は三人の敵を抑へてゐることは取りもなほさず勝つてゐることねるだけでも我軍は勝つて

磐新顧問

（照合を願迎す）

（問）私のところは夫と夫の弟との三人暮らしでご吉日となる

ざいます。目下夫は病氣にて明日にも知れぬといふ狀態です、若しこの場合戸主たる夫が死亡しました時は誰が戸主になるものでせうか若し弟が戸主になつたら私の動産不動産は弟の自由になるものでせうか（若子）

（答）この場合法律上は守對戰は敵、味方も鳴りをしづめて鬨を揚ぐる程であつた。攻むるに奇器あり防ぐに奇略あり當代の智將と智將が對峙つ思した本能成昌と羽柴秀吉のでは如何なものでありませちや」

「秋になればあの草木が枯れる時が來れば敵を皆殺しのこと成昌に云つた剛勇のに——」

吉行はます〳〵成昌の云ふ事がはつきりと腑に落ちでなく術の爭ひ——だから血氣にはやる若いからのう——」

勇士達は些か齒ゆくなる位であつた。

「どうもかうやつて毎日にらみ合つてゐるばかりでは少しも面白うない。すつかう退屈してしまうではないか」

「左樣ぢやどうせ戰ふならがしてゐるのだから同じことさつさと戰つて勝負をつけとであらう」成昌は笑つた

「しかし一刻も早く此の敵を破つて豫定通り進軍せねば折角の應援に出軍した味か無になるかと存じられまするが！」

「はゝゝゝ戰つたところで必ず勝つとは限らぬ敵も織田の旗下に第一の智者と謳はれた羽柴秀吉殊に軍勢は吉は早くも此の事を知つてつだところで勝つことは疑途中に於て成昌の軍勢を遮間であらう。それより矛を交すとも敵の精鋭を此の處にて喰ひとめてゐたならば折角の應援に出軍した味か無になるかと存じられまするが！」

秀吉が途中を遮きると知つて成昌は進軍を止め或るねるのぢや」

「戰はすに勝つてゐるとは吉行は解せぬ面持だつた

「さあ戰はすとも我が軍よ秀吉の軍が多い我が一人に彼の二人又は三人が相當する一人で二人又は三人の敵を抑へてゐることは取りもなほさず勝つてゐることねるだけでも我軍は勝つて

磐新顧問

（照合を願迎す）

（問）私のところは夫と夫の弟との三人暮らしでご吉日となる

ざいます。目下夫は病氣にて明日にも知れぬといふ狀態です、若しこの場合戸主たる夫が死亡しました時は誰が戸主になるものでせうか若し弟が戸主になつたら私の動産不動産は弟の自由になるものでせうか（若子）

（答）この場合法律上は守

入院隨意（自炊の便あり）
外科專門
平町南町
上田外科醫院
電話一二九

新館陳列　六月一日より
◆昭和式中形
◆昭和式手拭中形
◆名古屋しぼり
是非御覽を願ひます
三井呉服店
平町三丁目
電話三十八番
夏物豊富取揃へ申候

齒科口腔一般
診療時間（午前七時ヨリ午後八時マデ）
但シ急患ハ此限リニアラズ
平町南町成田山前
鈴木齒科醫院
齒科醫　鈴木五郎

斯界に誇る獨占映畫
プログラム
平舘獨特長篇喜劇
宙乘りモンテイー　全二卷
モンテイーバンクス主演
維新劍哀話　新爭
刀下の白痴　全六卷
市川市九、櫻木梅子……主演
原作　砂田駒子　脚色　フランク德永
主演　監督　田坂具隆
復讐奇談　東洋のカルメン　前後篇十三卷
全部上映
吾等は吾等の世界に於て最も憐れむべき者の名「女性」と呼ぶ事が出來る男性の暴戻に泣く女性は世の男性を呪い、父を殺し母を奪つた男性に如何に復讐する？……爭鬪を彩る支那情緒劇
劍人　河部五郎主演　葛木香一　瀧澤靜子　助演
時代亂鬪　マンジ巴　全七卷
時は德川時代の中葉純州家の番士不敵なる魂と立派な腕を持ち乍ら四角四面の仕官を嫌つて世を諧謔に過ごす鬼頭重成の正義の劍爭史
當ル一日ヨリ上映　土日曜學生デー　平舘

ホシ英水白粉　ホシ英旗白粉　ホシ英固煉白粉　ホシ英粉白粉
ホシ英クリーム　ホシ英ローズ香水
星製藥株式會社
木ノ美白粉

内科　小兒科　皮膚科　花柳病科
平町舊城跡（城山）
醫學士　青沼淡夫
電話四〇三番
青沼醫院

のんですぐきく
クノー散
神經痛、頭痛、ロイマチス、齒痛、肩のコリ、其他疼痛時服用すれば奏効的確なり
論より證據直ちに試みられよ
定價　三十錢、三十錢、五十錢、一圓
平町各藥店ニテ特約販賣致します

營業品目　絹糸、絹紡績糸、綿糸、染糸、組紐、漁網糸、人造絹糸、カタン糸、輸出用加工糸、眞綿、其他糸物一式
東京市日本橋區通油町
株式會社　藤掛商店
電話浪花三五一番　報御一報次第直送　振替東京三二四〇番
小店員募集
十五才以上十七八才迄　五名
小學校卒業程度御希望の方
磐城新聞社御出で下さい。委細面談

世界的日魯漁業會社が大量製產の結果はかくの如き安き鑵詰ありや
優良、美味、便利
氷山印鮭鑵詰
特價　金貳拾參錢
平町二丁目
西村屋藥局
電話三番

内科。外科。婦人科。
小兒科。花柳病科。
磐城病院
平町田町本通り
入院隨時　（電話一一四番）

生殖機能
腦神經衰弱病
一回一錢

ホルピカリン
斯の如き人に
ビカツトンを推奨す
○遺精夢精で身體が弱る人
○早老で神經質な性交不結果
○過淫、手淫で頭がボンヤリ
○記憶力減退し根氣の無い人
○疲勞で元氣なく精力ない人
○男女性能缺乏感覺減少の人
○ヒステリーでイラ〳〵する
○眠むくても眠られぬ不眠症
○精力と元氣と健康を欲ひ人
健康男女
精力の消耗補給と元氣健康の增進强壯として常用せば或る何者か得た樣な言はぬ心强さを體感す
三大改善
○内容增量＝稅法改正により一瓶以上二瓶增
○包裝改正＝世界的販路の見地より
○容器添付＝愛用者奉仕の爲五圓以上ニツケル製携帶容器付
藥價　三十錢　五十錢（携帶容器付）五圓　百三十五錢（同）十圓　三百十錢（同）廿圓
發賣元　東京市銀座新橋町八番地　振替東京七二一一番　丁子堂藥房　大阪市西區立賣堀北通三の一つゝ

大藏文部兩大臣

水野氏代つて入閣し

本日午後親任式

（東京電話）今二日午後一時十五分赤坂御所に於て左の如く大藏、文部兩大臣の親任式を行はせられた

文部大臣　三土忠造
任大藏大臣

正三位勳一等　水野練太郎
任文部大臣
大藏大臣　高橋是清
依願免官

磐城各地右傾團の大同團結具体化

今月中旬關係者協議會

組合側復た敗北

入山炭礦爭議は醜き慘敗は王城炭礦東京本社に直接交渉を開始するに至つた日本坑夫組合は泣き泣入れ何等かの名文であるが春蠶掃立が例年より幾一割を減んじてゐるから今年の出廻は左程の活況を呈しないと見られ一般の商況も不振を極めてゐるから設計の設計をすることに決定した

行政訴訟に就て

町民諸君に一言したい

本町長　伏見彦衛氏談

平町の行事

時の記念日に

宣傳と講演

此の一日間を

勞働者の慰安日

各種の餘興も整いて

古河炭礦山神祭

内鄉の賭博

一網六人捕はる

盜難と頻發

人民戰々恟々

きのうから一週間

狂犬の豫防デー

充分注意をせねば

結果は狂水病に

公告

舊中學校地内

耳よりなはなしは

鐵道と銀行

疾くもボーナスの噂

夏の夜の街道に

不良少年の群

各家庭も注意を充分に

平署の取締嚴重

皮肉を求む

貨物動態

昨年より良好

僅に鐵道

關係の人人

落陽の悲境

航路標設置

技師實地調査

鹽屋岬に

航路標識設置

磐城新聞

鐵と砲

（按書徹迎）

公告

舊中學校地内

良品廉賣に勝る商略なし

磐城平町五丁目

磐城セメント株式會社特約代理店

和洋銅鐵金物問屋 ㊁ 釜屋商店

諸橋久太郎

電話九番　一三九番
振替貯口金座東京一〇九五六番

確實敏捷は ㊁ の生命なり

嶄新輕快ナ

小供　麥帽
麥一文字帽
流行の粹
婦人洋傘
男子用絹張傘
着心地ヨク實用的ナ
富士絹ワイシャツ
ゼハー
プリント各種

平町四丁目

鶴屋洋品店

電話百四十番

懇切迅速勉強は

弊店のモットーであります

磐城銀行御指定

ケーテー洋服店

平町高野木村幸一